

JA全農ちば 営農情報集 2月号



今月の情報

1. 水稻種子の消毒時の注意点について
～良質な米づくりは良質な育苗から～
2. 水稻鉄コーティング湛水直播栽培について
3. 園芸野菜 病虫害防除情報
4. 安全な農作物生産の取り組みについて
～堆肥の管理方法～

2月の気象について（気象庁 1/27 発表 長期予報（1 か月）から）

1. 2月は気温が低く推移する予報となっています。
2. 降水量は平年並みです。
3. 急な低温による凍霜害等に注意しましょう。予報を確認し、必要に応じ被覆等の対策を実施しましょう。

【気温】	40	40	20
【降水量】	30	40	30
【日照時間】	30	40	30

凡例 ■: 低い ■: 平年並 ■: 高い

（長期予報は毎週木曜 14 時 30 分に発表されます。週予報とともに確認し今後の栽培管理の計画を立てましょう）



<農薬の残留に注意！>

- ①農薬の使用基準は守りましょう！
- ②周囲への農薬飛散「ドリフト」対策を行いましょう！
- ③散布器具は毎回しっかりと洗浄しましょう！
- ④農薬散布記録簿への記帳は忘れずに！

注意とお願い

農薬登録内容は掲載時点の情報です。農薬を使用する際に必ず最新の登録内容をご確認ください。

水稲種子の消毒時の注意点について

～良質な米づくりは良質な育苗から～

J A全農ちば
営農支援部

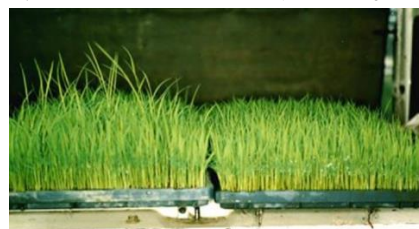
今年も水稲栽培に向けた準備の時期が到来します。イネばか苗病や細菌性の苗立枯病など種子伝染性の病害の発生を防ぐためには、薬剤による種子消毒を中心とした対策が必要不可欠のため、しっかりとした対策を実施しましょう。

1. 種子伝染性病害

種子伝染性病害とは種籾の周りや内部に侵入した病原菌が育苗箱中に発生する病害です。

(1) ばか苗病

- ・茎葉が徒長し、黄化する。(ヒョロヒョロ状：写真左)
- ・根数は少なく、引き抜くとピンク色のカビが付着している。
- ・発病条件 密播、育苗期の高温・多湿



(2) もみ枯れ細菌病

- ・出芽時に発病すると細く湾曲して、アメ色に変色腐敗する。
- ・緑化期以降に発病すると、新葉がねじれ部分的に白化する。
- ・発病苗は、地際部が腐敗して新葉は抜けやすい。
- ・坪状に発生し、悪臭を放つ。
- ・発生条件 土壌の高 pH、育苗期の高温・多湿



(3) 苗立枯細菌病

- ・初期症状は、展開中の第2葉の基部から白化する。
- ・後期症状は、水分不足でしおれたようになり、葉は赤褐色になって乾燥枯死する。
- ・発病苗は腐敗せずに抜けない。
- ・初めは坪状に発生し、その後帯状になる。
- ・発生条件：育苗期の高温・多湿



上からばか苗病・もみ枯れ細菌病・苗立枯細菌病

2. 種子消毒の方法

種子消毒は効果の高い化学農薬（ヘルシードT・テクリードC）を使用しましょう。

(1) ヘルシードTフロアブル、テクリードCフロアブルを使った種子消毒

希釈倍率：200 倍

浸漬時間：24 時間

浸漬時の水量と使用薬液

(2) 種子消毒時のポイント

- ・種子 1kg に対して薬液 2L を用意し浸漬する。
- ・浸漬時の水温は 10～15℃を目安に実施する。極端な低温や高温は薬剤の効果不足・薬害と相まって発芽不良になりやすい。
- ・種子袋はゆすりながら薬液に浸す。浸漬中に種子を 2、3 回攪拌する。
- ・消毒後は、半日～1 日程度陰干し（風乾）し薬剤付着率を高める。（ヘルシード T 剤は必ず）

希釈濃度	種籾量	4kg	10kg	20kg	40kg
200 倍	薬量	40ml	100ml	200ml	400ml
	水量	8ℓ	20ℓ	40ℓ	80ℓ

水稻鉄コーティング湛水直播栽培について ～水稻省力・低コスト技術～

1. 鉄コーティング湛水直播の狙い目

- (1) 田んぼが集積し、育苗が代かき・移植と重なり大変
- (2) 近年、気象の極端化により育苗期の気温・日照が安定せず、育苗自体が難しい
- (3) コストカットを検討している

2. 鉄コーティング湛水直播栽培とは

水稻種子を鉄粉と焼石膏でコーティングし、代かきした水田に直接播種する技術です。種子のコーティング作業が必要になりますが、**育苗作業が必要ないため、作業分散・低コスト・労力軽減**につながります。



処理済の種もみ

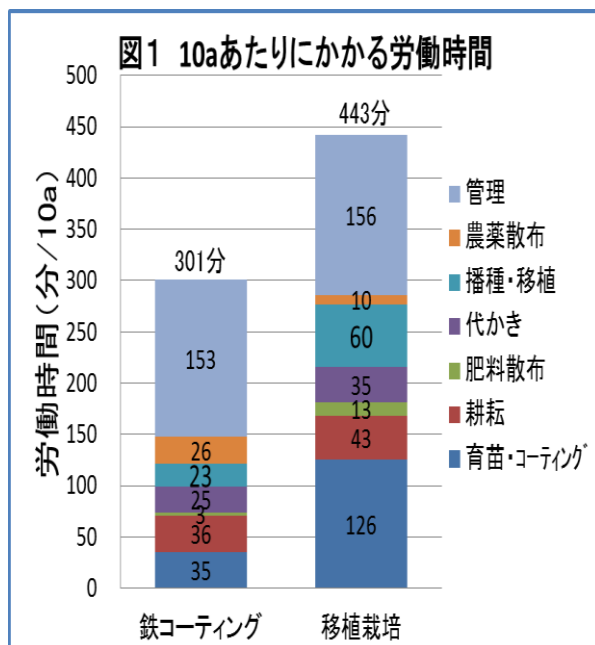
3. 鉄コーティング湛水直播のメリットと注意点

メリット

- (1) 育苗・移植に係る労働時間が減少(図1)。
- (2) コーティング種子は保存がきくため、農閑期にコーティングすれば作業分散ができます。
- (3) 育苗が不要なため、育苗時の資材費が不要です。

注意点

- (1) 圃場の均平がある程度取れ、入排水が自由に管理できる圃場が推奨です。
- (2) この栽培方法では倒伏しやすい品種は避けましょう。



栽培技術サポートもおこなっています！

JA 全農ちば営農技術センター(成田市)に「鉄コーティング種子大量製造装置」を設置しています。種子や鉄粉等をご持参いただければ、コーティング作業を無償でおこなえます。ご興味がありましたら最寄りのJAを通じてご相談ください。

農作業安全 ハウス建設の事故、ハシゴからの転落注意！ 食の安全安心 農薬使用後は必ず記録簿へ記帳しましょう。

※ 本資料の無断使用・複写・転載を禁じます JA全農ちば

園芸野菜 病虫害防除情報

J A全農ちば
営農支援部

1. はじめに

2月は気温が平年より低く推移する予報が気象庁から発表されております。低温による凍霜害等に注意しましょう。また、暖かくなってくるとアブラムシ・コナジラミ類等が徐々に発生し始めますので、圃場の確認をしっかりと行いましょう。

2. ジャガイモ（種いも消毒、圃場準備）

（1）種いも準備

- ア. 種いもが届いたらすぐに開封しましょう。割れたり傷つかないように扱きましょう。
- イ. 通気の良い、高温にならない場所に保管しましょう。湿気がこもらないよう、ビニールシート等は被せないでください。
- ウ. 合格証票は事故処理に必要ですので、栽培終了まで大切に保管しましょう。

（2）種いも消毒（そうか病、黒あざ病対策）

種いも切断と併せて行いましょう。種いも切断は植え付け1～2日前に40gを目安に、2～3個の芽が残るよう切断しましょう。腐敗防止のために、切断後は日陰で切り口を乾かしてください。

ア. 粉衣処理の場合（種いも切断後に処理）

バリダシン粉剤DL：種いも重量の0.3%を粉衣する。種いも20kgであれば60g。
（植付前・黒あざ病で登録）

イ. 浸漬処理の場合（種いも切断前に処理。切断後、萌芽後では薬害のリスクあり）

アタッキン水和剤：40倍液に5～10秒間種いも浸漬を行う。また処理後は風通しの良い場所で乾燥させる。（植付前・黒あざ病、黒あし病、そうか病で登録）。

（3）圃場防除薬剤（そうか病、粉状そうか病対策）

ア. 土壌消毒剤

【ポリ・ビニールで被覆し、十分な被覆期間を置く。クロルピクリン剤は被覆必須】

- ①クロルピクリン剤（クロールピクリン等）：1穴 2～3ml（圃場）
- ②ガスタード微粒剤（バスアミド微粒剤）：20～30kg/10a・植付21日前まで

イ. 土壌処理殺菌剤 【粉状そうか・そうか病登録】

- ①フロンサイド粉剤：30～40kg/10a・植付前・全面土壌混和・1回
- ②ネビジン粉剤：60kg/10a・植付時・全面土壌混和・1回

3. コナガ（アブラナ科野菜）

今後、コナガの発生が懸念されます。コナガの幼虫は葉裏～芯に隠れていますので、圃場確認時は葉をめくって裏側も確認しましょう。

薬剤は同系統の薬剤の連用・多用を避けて使用しましょう。他のチョウ目害虫やアブラムシ類も併発しますので、次頁記載の防除薬剤表などを参考にしてください。



コナガ成虫（体長 10mm）



コナガ幼虫 葉の表面を薄皮一枚残して食害する



○キャベツ チョウ目害虫防除薬剤（コナガ対策）

対象病虫	薬剤系統	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
コナガ アオムシ	マクロライド系	アフーム乳剤	1000～2000	収穫前日	3回以内
	スピノシン系	ディアナSC	2500～5000	収穫前日	2回以内
	その他①	ハチハチ乳剤★	1000～2000	収穫14日前	2回以内
	その他②	プレオフロアブル	1000	収穫7日前	2回以内
	その他③	モベントフロアブル★	2000	収穫7日前	3回以内
	その他④	ファインセーブフロアブル★	1000	収穫3日前	2回以内
	メゾアミド系	グレーシア乳剤	2000～3000	収穫7日前	2回以内
	(イソキサザリン系)	ブロフレアSC	2000～4000	収穫前日	3回以内
	ネオニコチン系	パダンSG水溶剤★	1500	収穫14日前	4回以内
	BT剤★	ゼンターリ顆粒水和剤	1000～2000	収穫前日	—
		エスマルクDF	1000～2000	収穫前日	—

※ キャベツ以外のアブラナ科作物は別途登録内容を確認して使用しましょう。

★の薬剤は使用上のポイントがあります

- ①ハチハチは大型チョウ目が苦手なので、タバコガ・ウワバの発生に注意
- ②モベントはアブラムシ防除、ファインセーブフロアブルはネギアザミウマ防除を兼ねますが、大型チョウ目対策はできません
- ④パダンはアブラムシ、ナメクジ防除も兼ねます
- ⑤BT剤は若齢幼虫でないと効果が十分に発揮されないなので、発生前から使用しましょう。

4. べと病・疫病（苗床：トマト・キュウリ・スイカ）

多湿条件で発生しやすいため、施設内の換気・温度管理、また株間を広げて配置するなどの耕種的な対策が重要です。また予防として、以下の薬剤散布を実施しましょう。また両薬剤は苗立ち枯れ病への灌注処理登録もあります（ダコニール・スイカの組み合わせは登録無し）

○べと病 or 疫病防除薬剤 ト：トマト・キュ：キュウリ・ス：スイカ

FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用回数	備考
M4	オーソサイド水和剤 80	800～1200 倍 ト・ 600 倍 キュ ス	5 回以内 ト キュ ス	予防
M5	ダコニール 1000 (スイカはつる枯病登録)	1000 倍 ト キュ・ 700～1000 倍 ス	4 回以内 ト・8 回以 内 キュ・5 回以内 ス	予防

農作業安全 ハウス建設の事故、ハシゴからの転落注意！ 食の安全安心 農薬使用後は必ず記録簿へ記帳しましょう。

※ 本資料の無断使用・複写・転載を禁じます JA全農ちば

5. アザミウマ（イチゴ）

今後、アザミウマ類の発生が多く予想されています（病害虫発生予報第10号 千葉県 1月19日発表）。イチゴでは主にヒラズハナアザミウマが発生し、花部を中心に寄生しています。果実表面を食害されると表面のツヤが無くなり、硬化してしまいます（下写真参照）。成虫は100個前後産卵し、サナギになると一度土中に潜り込み、成虫になると地上へ出てきて1か月以上生存します。早期発見に努めて、発生初期からのローテーション防除を行いましょう。



ヒラズハナアザミウマ成虫



被害部



イチゴ被害果実

○イチゴ アザミウマ防除薬剤

対象害虫	薬剤系統	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
アザミウマ類	ネオニコチノイド系	モスピラン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	2回以内
	スピノシン系	スピノエース顆粒水和剤	5000倍		2回以内
		ディアナSC	2500倍		2回以内
	ジアミド系	ベネビアOD	2000倍		3回以内
	メタジアミド系	グレーシア乳剤	2000倍		2回以内
	その他①	ファインセーブフロアブル	1000倍		3回以内
ミコハアザミウマ	合成ピレスロイド系	アーデント水和剤	1000倍		4回以内

注意：天敵への影響日数については別途ご確認ください

安全な農作物生産の取り組みについて ～堆肥の管理方法～

J A全農ちば
営農支援部

未熟な堆肥を施用した場合、作物の生育（濃度障害など）、防除（雑草種子混入など）、さらには食品安全（食中毒の原因となる微生物）への影響が考えられます。堆肥を十分に腐熟させることで前述のリスクが減少し、取り扱いやすい堆肥となります。

1. 腐熟促進のポイント

腐熟は微生物による発酵を促進させることが重要です。

- （１）水 分：水分が過剰だと発酵が進みにくいため、もみがら・おがくず等で調整する。
- （２）切り返し：月１回、３回以上切り返しを実施し、堆肥全体に空気を入れる。

2. 腐熟度の確認

- （１）期 間：３回以上切り返した後、２週間程度堆積。
- （２）温 度：内部温度 55℃以上が３日間継続（大腸菌等の死滅温度）。雑草種子対策のためには 60℃以上が目安となります。実際の堆肥内部の温度は中心部 75℃～表層部 30℃まで差が生じます。より腐熟を促進させる場合は継続して切り返しと堆積を行います。
- （３）臭い・色：一般的に十分に腐熟すると家畜ふんの臭いがほぼ無くなり、黒褐色になります。
- （４）購入堆肥：作業負担や周辺環境の点から、購入堆肥を利用する場合があります。上記の点を守って製造された堆肥か、入手元へ確認しましょう。

3 家畜ふん堆肥の保管場所について

堆肥の製造中は周辺環境を汚さないように注意しましょう。降雨によって堆肥が圃場・栽培施設・水路等へ流出することや、強風による堆肥・臭いの飛散などが考えられます。

（対策１）降雨・強風：

屋根のある堆肥場、シートで覆うなど雨風の影響を受けにくい保管状況への改善

（対策２）排水・排汁：

まず、堆肥保管場所周囲の状況を確認し、堆肥から染み出した排汁がどのように流れてしまうかを把握しましょう。周囲への流出を防ぐため、溝を切るなどして排汁が周囲へ広がらないよう管理しましょう。横方向だけでなく、地下への浸透も起こりうるため、保管場所の底はコンクリート等で整備されていることが望ましいです。また、圃場に隣接した場所に保管している状況などでは、保管場所自体の見直しが必要な場合があります。

食品衛生対策に関する堆肥の管理方法資料は農林水産省 HP でも公開されております。

「生鮮野菜を衛生的に保つために一栽培から出荷までの野菜の衛生管理指針ー（第２版）」

公開先：https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/kome/k_yasai/